

当教室で行っている研究のお知らせ

消化管外科学分野では、以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

研究課題名：食道周囲の密性結合組織構造に関する解剖学的研究ならびに発生学的研究

東京科学大学医学系倫理委員会承認番号：第 M2019-188 番

研究実施期間：研究実施許可日から西暦 2026 年 3 月 31 日まで

研究目的：

食道は頸部から一部は腹部にまでおよぶ消化管です。そのため食道周囲の組織学的構造はその部位によって異なるものと考えられています。精緻な食道癌手術を行うには解剖学的な理解が必要不可欠です。

昨今、食道癌根治手術においても内視鏡下手術が普及し、高解像度カメラによる拡大視効果によって従来よりもはるかに精緻な解剖学的構造の把握が可能となってきています。食道周囲の構造の詳細が明らかになれば、そういった手術の更なる発展に貢献できると考えます。

本研究の目的は、部位による食道周囲の密性結合組織構造明らかにし、食道癌に対する手術の発展に寄与する解剖学的基盤を構築することです。

研究の対象：

本研究で用いるのは、本学解剖実習室に保存されている胎児標本です。胎児時期には両肺が接合していますが、この標本を用いることで下縦隔の食道周囲の密性結合組織の成り立ちが判明すると考えられます。研究の実施に当たっては、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法を遵守して行なって参ります。同時に、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」および日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に従って行います。

研究の内容：

組織標本作製し、食道周囲の密性結合組織の構造を調査します。染色方法としては HE 染色、EVG 染色および Masson Trichrome 染色を行います。この研究が食道周囲の密性結合組織構造の解明につながり、よ

り精緻な手術手技の基盤となると考えています。また、本研究が提供する解剖学的知見は、食道癌に対する手術の根治性向上および安全性向上を目指した手術の発展に貢献できると考えています。

研究実施期間は研究実施許可日から西暦 2026 年 3 月 31 日までになります。この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を国内外の学会や論文で発表しますが、写真閲覧時に匿名化を行い、解剖体の個人を特定できる情報は使用いたしません。登録解剖体の同定や照会は、登録時に発行される登録番号を用いて行います。登録にあたっては、識別番号を設定し、匿名化を行います。参照した画像等は、匿名化の後、消化管外科学医局にて 10 年間厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利益相反および利害関係はありません。利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究の実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会に申告を行い、承認されています。またデータを二次的に利用する場合は新たな研究計画を立案し医学系倫理審査委員会で承認された後、改めて HP 上でお知らせいたします。

なお、本研究に関してお問い合わせのある場合、下記宛先までご連絡ください。また、研究の途中であっても、解剖体の使用あるいは得られたデータの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外します。その場合にも故人および関係者の皆様の不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究責任者：東京科学大学病院 光学医療診療部 川田研郎

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803- 5254（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情・相談窓口：

東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

電話：03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）